

# 学友会ニュース

No. 284

発行日：令和 8 年 8 月 25 日

発行：芦屋川カレッジ学友会  
<https://ac-gakuyukai.com>



## 9 月 講 演 会

一般公開

### 縄文時代の再発見

～縄文の真実に迫る！ DNA 研究が描く新しい日本像～

講師 <sup>もぎ</sup>茂木 <sup>まこと</sup>誠氏  
予備校講師



#### 講師プロフィール

駿台予備学校の世界史講師として長年教壇に立ち、東京大学・一橋大学など国立大学志望者向けの講座を担当。一般向けの歴史・地政学・経済・政治思想に関する著書も多数執筆し、全国各地で講演活動を行っている。

9.14(月)  
13時45分開場  
14時開演  
ルナ・ホール

「縄文時代」と聞くと、素朴な狩猟採集の時代というイメージを抱く方も多いでしょう。しかし近年、DNA 研究や考古学の飛躍的な進歩により、その姿は大きく塗り替えられています。わずか 20 年ほどの間に、縄文人の暮らしや文化、人々の交流、そして現代日本人とのつながりについて、新たな事実が次々と明らかになってきました。本講演では、最新の研究成果をもとに「縄文」の真の姿をひも解きます。



40th Anniversary



歩んできた40年 深まる絆と輝く歴史  
心ひとつに共に創る未来へ

## 学友会40周年記念演奏会

10.4(日)

13 時 15 分開場

14 時開演

ルナ・ホール

芦屋フィルハーモニー管弦楽団

- ★デュカス 「ラ・ペリ」のファンファーレ
- ★シベリウス 組曲「カレリア」 Op.11
- ★シベリウス フィンランディア Op.26
- ★ブラームス 交響曲 第 4 番 Op.98

参加申込は配布のチラシ申込書に記入し、各同期会の委員へ会費を添えてお申し込みください。  
申込締め切りは 9 月 10 日 (木) です。

## 自由投稿

### 尽きない史跡探訪の魅力

21期 中島 忠勇

2005年結成した芦屋川カレッジ21期生の同好会「史跡探訪の会」は2023年100回をもって打ち上げとなりました。史跡通のリーダー達の先導で、主として、魅力溢れる紀元後3～7世紀の古墳時代、大和の箸墓古墳に始まる巨大前方後円墳（天空のモニュメント）を始め、播磨、摂津、和泉、河内、大和、山城の前方後円墳を訪ねました。同好会解散後も機会を作っては武蔵の稲荷山古墳（埼玉古墳群）の国宝「辛亥」銘の鉄剣を見に行きました。一方、遺跡めぐりでは縄文・弥生時代まで遡り、北は三内丸山遺跡、南は吉野ヶ里遺跡まで足を延ばし、二時間以上も一人黙々と古代に思いをはせながら探索できたことは楽しいひと時でした。

今春は紀元後57年に後漢の光武帝から下賜された国宝「漢委奴国王」の金印が出土した志賀島を訪ねた後、筑紫の6世紀前半、古代史上最大の内乱と呼ばれる磐井の乱を主導した筑紫君磐井（ツクシノキミイワイ）の墓とされる前方後円墳「岩戸山古墳」まで足を延ばすことができました。別区に築造当時沢山樹立していたであろう石人、石馬等の石製品を間近に見て、九州古墳文化に思いを馳せ、また現地に建設された八女市岩戸山歴史文化交流館では古墳を装飾した沢山の武装石人等、歴史に彩られた資料が多く展示され、説明文を読みこんで納得してきました。

今後どれほどの機会があるか分かりませんが、体力の続く限り史跡探訪を続け、最後は墳丘の長さ350メートル全国第4位の巨大前方後円墳、吉備の造山（ツクリヤマ）古墳を縦断して、巨大古墳のすごさを体感できたらと願っています。



筑紫君磐井

## 7.15~9.14 隧道展示 33期 34期



プラハの街角にて(チェコ) 前田稜



グレス・ケリー 北風文子



静物 久我三和子



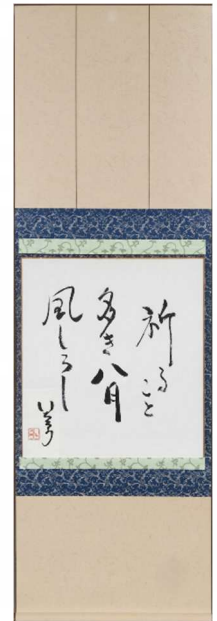
マンハッタンの夕景 梶本和男



湖北の風景 大橋廣史



壺「丹波それとも備前焼」  
高橋良司



俳句 堀一郎

## 2026 学友会 親睦ゴルフ大会

と き 10月21日(水)

ところ ロータリーゴルフ倶楽部



各期のゴルフ同好会代表者にお申込み下さい。  
実行委員長  
27期 萩野勇

## 2026 学友会 秋の美術展

と き 11月5日～9日

ところ 市民センター301・302室

皆さまの  
作品募集中

【出展作品】

絵画(油彩画、水彩画、日本画、水墨画)、写真、書、工芸(陶器・彫刻)

